

源氏物語から 平安時代をよみ解く

6月12日（水）

10:40～12:10

文学部 松本大 教授

読むだけではない 『源氏物語』の魅力

平安時代を代表する文学作品である『源氏物語』は、現代にいたるまで、様々なかたちを取りながら、多くの人々を楽しませてきました。彼らが目にしていた『源氏物語』の作品世界は必ずしも原典を読んだだけで得られたものではありません。本講座では『源氏物語』の作品世界がどのように表現されていたのか、またどのように受け入れられていったのか、という点を解説したいと思います。

6月26日（水）

10:40～12:10

文学部 岸本理恵 教授

王朝女流文学の舞台裏

源氏物語が書かれた平安時代の中頃、宮廷に仕えた女性たちが高い教養をもって華やかに活躍しました。紫式部、清少納言、百人一首に名を残す女性たちが他にもあります。こうした女房たちがどのようなことを考え、何をすてきと違って過ごしていたのか。それを知れば、王朝女流文学を身近なものとしてもっと楽しめるはずです。本講座では、枕草子やその他の作品から、そうした宮廷女房たちの日常に迫ってみたいと思います。

6月19日（水）

10:40～12:10

環境都市工学部

藤田勝也 教授

平安貴族が過ごした住宅 -紫式部の生活空間-

平安時代の貴族が過ごした住宅の様式は「寝殿造」と呼ばれています。紫式部も清少納言も藤原道長もそこで生活していましたし、光源氏も例外ではありません。残念なことに当時の住宅は現存しませんが、寝殿造の理解に役立つ建物や再現施設などがあります。それらを紹介しつつ、寝殿造をめぐるこれまでの通説を検証し、建築史の立場からその実態に迫りたいと思います。

7月3日（水）

10:40～12:10

文学部 西本昌弘 教授

藤原道兼・道長と 紫式部

紫式部が成長するのは円融天皇から一条天皇にかけての時代で、この間、摂政・関白などとして政権を主導する人物は藤原兼家から道隆・道兼・道長へと変わりました。この時期の摂関政治の動きを確認しながら、紫式部とその父藤原為時が彼らと関係を深めることで、官人や女房として朝廷に出仕し、活躍の場を広げる様子を追ってみたいと思います。

場所

〔会場〕 関西大学 千里山キャンパス〔オンライン〕 ZOOMでのライブ配信

受講料

500円（全4回）

定員

会場・オンラインとも各100名（先着順）

申し込み方法

会場受講

下記いずれかの方法にて、1名様ずつお申込みください。

〈吹田市電子申込システム〉

右図二次元コードから必要事項を入力して申請し、
受付完了メールが届いたら、申込み完了です。



〈通常はがき〉

下記必要事項を記載のうえ、まなびの支援課へお送りください。
宛先：〒564-0027 吹田市朝日町3番415-1号 まなびの支援課

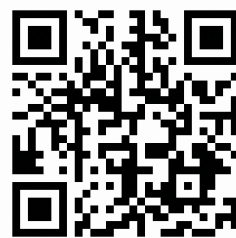
○必要事項

1 講座名 2 住所 3 氏名（ふりがな） 4 電話番号 5 手話通訳の有無

オンライン受講

右図二次元コードから必要事項
を入力して申込みください。

※チケット販売「Peatix」にて申込み受付及び受講料徴収
をします。初めてPeatixを利用する方は、アカウントの
登録（無料）が必要です。



申し込み期間：いずれも5月1日（水）～6月10日（月）
【手話通訳は5月28日（火）まで。はがき申込みは期日必着。】

- ・全4回とも、会場かオンラインのご選択いただいた受講方法でご参加ください。
- ・講座当日の午前6時時点で、大阪府下に暴風警報または特別警報が発令された場合は休講といたします。また、自然災害等の事情により、当日やむを得ず中止となる場合がございます。なお、休講・中止の際の個別連絡はいたしませんのでご了承ください。
- ・お申込み時にいただいた個人情報は、本講座の名簿の作成およびご案内の連絡にのみ使用いたします。
- ・~~全講座終了後に、受講者限定でオンデマンド配信を予定しております。詳細は講座にてお知らせいたします。~~

事務局都合によりオンデマンド配信は中止となりました。
申し訳ございません。

— 問い合わせ先 —

〔会場受講について〕

吹田市教育委員会 まなびの支援課
TEL:06-6155-8264 FAX:06-6155-8876
Eメール：sgmanabi@city.suita.osaka.jp

〔オンライン受講について〕

関西大学社会連携部地域連携センター
TEL：06-6368-1032
Eメール：chiiki-mm@ml.kandai.jp